

今年の正月に新年のご挨拶を申し上げてから、早8月も今日で終わり。
あの暑かった夏も喉元過ぎればなんとやらで、今はほどよい秋風に吹かれながら心癒やされる毎日です。

今般の新型コロナウイルスの感染に際しましては、生徒はもとより保護者の皆様にも多大なご迷惑とご心配をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

そんなコロナ禍に翻弄されるなか、自分は何のために校長をやっているのだろうか？とか、自分はどんな学校を創ろうとしていたのだろうか？といったことを、あらためて考えていました。

そんなときに校長会の研修会資料が送られてきて、資料を読むとこんなことが書かれています。

- 幸せなことを経験した人は、いつかまた幸せなことが起こると信じることができるといこと、
- 見守ってもらった経験のある人は、将来必ず見守る側の人になるということ、
- 全力を尽くした経験がある人は、全力を尽くすべき時に全力を尽くすことができるということ、
- やればできるということを知った人は、諦めずに前に進んでいけるということ、
- 誰かに何かをしてもらったことが沢山あるという人は、それだけたくさんの財産（宝物）を持っているということ。

そうだ！これだ！！

自分は、こんなことを生徒の皆さんに伝えたくて、そしてこんなことが経験できる学校を創りたくて、校長をやっているんだ！

（さすがは校長会、いいことを教えてくれるなあ・・・）

本校は、来年度からコース編成も新たに大きくイメージチェンジを図りますが、これらのことは忘れてはならない自分の原点にしたいと思っています。

新型コロナウイルスとの闘いは、まだまだ先も見通せない状況にありますが、人類はこうした困難にも必ず打ち勝ってきました。それは歴史が証明するところです。

希望を捨てずに、ともに乗り越えていきましょう！

2021.8.31

白樺学園高等学校長 嶋野 幸也